

特集

訪問看護と管理栄養士との
連携は、こんなにケアを充実
させます

訪問看護・介護では、医療処置や排泄・清潔援助などが優先され、食事や栄養といったあたりにまで手がまわっていない現状もあるのではないのでしょうか。しかし、本来、食事・栄養は生活のうえでは基本であり、とても大事なもののはず。そこで本企画では、食事・栄養も重要なケアのポイントであることを示し、それを充実させる有効な一手として「訪問看護ステーション(訪問看護師)が管理栄養士との連携」を考えてみます。実際に「連携している(非常勤で雇っている/外部事業所と契約しているなど)！」という訪問看護ステーションさんからの声を集め、連携の仕組みの部分とその手応えも共有していただきます。

在宅における栄養ケアマネジメントに課題あり

●前田佳予子

【レポート】

これが「在宅訪問栄養」だ! ●塩野崎淳子

Q & Aで知る、管理栄養士と連携するための前提
知識 ●中村育子

【実践報告】

うちではこうやって連携しています

- 青葉区医師会訪問看護ステーション
- 株式会社ラピオン山の上ナースステーション
- 世田谷区社会福祉事業団

【特別記事】

高齢者の口のトラブルに目を向けよう ●枝広あや子

編集後記

企画の打ち合わせでは、栗原とともに小澤先生のクリニックへ伺いました。滞在したのはほんの一時ですが、そのわずかな間にも、小澤先生やスタッフの方々が患者・利用者へ細やかな目配りをしていると感じさせる場面に出会いました。「死を前にした人にあなたは何かができますか?」。小澤先生が援助者に向ける問いは直球でし、必要な援助の解説もじつにシンプルです。ただ、それが単なる「極論」なのではなく、実践を積み重ね、研ぎ澄ませていった先にある言葉であったのだ実感できました。…小池

特集座談会の収録では、患者役になって即興で小澤先生とロールプレイをさせていただくという、たいへん光栄ながらも冷や汗ものの体験をしました。感情が高ぶり言葉に詰まってしまうことが多々ありましたが、自分の言葉をゆっくりと反復してもらったり、次の言葉が出てくるまで沈黙してじっと待っててもらえたりすると、「この人には何を話しても受け止めてもらえる」という感覚が自然と生まれてきました。援助的コミュニケーションの“反復”と“沈黙”の効果を体感できたこと、とても貴重な経験でした。…栗原

※一部変更となる場合があります。

訪問看護と介護 第23巻 第4号(通巻262号) 2018年4月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2018, Printed in Japan

1部定価:本体1,400円+税 年間購読料(税抜,送料弊社負担,年間12冊):12,600円(冊子版)/15,600円(冊子+電子版/個人)/12,600円(電子版/個人)

販売部:☎03-3817-5659 社内案内:☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室:☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当:小池・栗原・横田・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写,スキャン,デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学,病院,診療所,企業などにおいて,業務上使用する目的(診療,研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは,その使用範囲が内部的であっても,私的使用には該当せず,違法です。また私的使用に該当する場合であっても,代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は,そのつど事前に出版者著作権管理機構

(☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は,株式会社医学書院の登録商標です。